①個別データシート	種類	製品	英名	crude molybdenum trioxide, MoO3 dignity 89%
整理番号: JP310085	分類	化学工業製品	和名	粗三酸化モリブデン,MoO3品位89%

・GHG排出量

1.42E+00 kg-CO2e/kg

・情報源分類

モデルデータ

・技術記述子

粗三酸化モリブデンの製造

・技術の内容と機能

モリブデン精鉱(MoS2)を空気中でばい焼して得る。多段ばい焼炉で、MoO3の急激な昇華、溶融を防ぐため500℃前後で焼成する。三酸化モリブデン製造の中間生成物

・情報源

(モリブデン精鉱)～焙焼
原材料:モリブデン精鉱(MoS2)
産出物:粗三酸化モリブデン(MoO3品位89%)、副生石こう(二水)

神鋼リサーチ株式会社"レアメタルの製造法とインベントリ調査報告書"(2008)
日本金属学会,"金属便覧改訂4版"
資源・素材学会/東京大学生産技術研究所,"世界鉱物資源データブック",オーム社
一般的な粗三酸化モリブデン合成のデータを基にモデル化

・データ作成者コメント

三酸化モリブデンはモリブデン精鉱の酸化ばい焼～(粗三酸化モリブデン)～アンモニア抽出～蒸発濃縮～ばい焼をモデル化し、操業条件を設定してエネルギーおよび原材料投入原単位を算出。このデータは、前段の酸化ばい焼までのデータ。

・適用範囲

原料としてのモリブデン精鉱(MoS2品位90%)の酸化ばい焼浮による粗三酸化モリブデンの製造のモデル化による推算である。

・システム境界

資源採取から製品の製造までを範囲とする。製品の日本国内における輸送を含まない。包装材を含まない。輸送のための梱包材を含まない。排水処理を含む。産廃処理を含まない。

・配分

共製品として石こう(硫酸カルシウム)が生成するが、工業的製造方法は別にあり、ここでは配分しない。

・GHG排出量の要因

主なGHG排出源は、消石灰由来のCO2(化石資源由来)、である。

②入出力データ

区分	フロー区分		品目名	連鎖した品目名	公開整理番号	数値	単位	備考
ユーティリティ	中間フロー	入力	燃焼･A重油	燃焼･A重油	JP111015	2.12E-01	MJ	
ユーティリティ	中間フロー	入力	冷却水	工業用水道	JP323002	5.15E-03	m3	
資源/原材料	中間フロー	入力	工業排水処理	工業排水処理		4.89E-03	m3	
資源/原材料	中間フロー	入力	モリブデン精鉱(MoS2品位90%)	モリブデン精鉱,90%MoS2		1.12E+00	kg	
資源/原材料	中間フロー	入力	酸素	酸素ガス(液化酸素を含む)	JP310040	7.05E-01	kg	
資源/原材料	中間フロー	入力	消石灰	消石灰	JP315032	9.31E-01	kg	
製品	中間フロー	出力	副生石こう(二水)	その他の産業廃棄物	*	2.16E+00	kg	配分しない
製品	中間フロー	出力	粗三酸化モリブデン(MoO3品位89%)	粗三酸化モリブデン,MoO3品位89%	JP310085	1.00E+00	kg	